

活動状況報告（月）

学生留学コース 5期生 藤原 香夏

留学期間の4分の1が経過しました。エドモントンは、3月12日よりサマータイムが始まり日の入りが20時を過ぎるなど、暗く凍える寒さの冬を抜け出し、気候が春らしく大きく変化した3月でした。

さて、今月の報告書ではエドモントン市民を取り巻くアイスホッケーの環境についてレポートします。エドモントンには NHL(ナショナルホッケーリーグ)所属のプロアイスホッケーチーム「Edmonton Oilers」があり、私が出会ったカナダ人の方々が口をそろえて「I like oilers」と言うほど、地元の方々に愛されているチームです。さらに、試合日にユニフォームを着た人が街にたくさんいることはもちろんですが、試合がない日でもユニフォームを着ている人やキャップを被っている人など、Oilers のグッズを日ごろから身に着けている人を年齢問わず街でよく見かけます。

Oilers の本拠地である Rogers Place は街の中心部からほど近い場所にあり、最寄りの電車駅から徒歩1分というアクセスです。毎週木曜日午後7時から8時までの1時間、スケートリンクが無料開放されており、無料でスケート靴をレンタルでき、誰でもスケートを楽しむことができます。プロの試合が実際に行われるスケートリンクとは別のリンクが一般開放されていますが、Rogers Place の敷地内はOilers のオフィシャルチームストアがありOilers 一色に染まっています。リンク無料開放の時間帯は地元の子供がスケートの補助器具を使用しながら滑っていたり、年配の男性がスピンを決めていたりと幅広い年齢、レベルの人で賑わっています。カナダといえばアイスホッケーというイメージ通りエドモントンの多くの人にはホッケー経験があるようです。カナダ人の友人も5歳からホッケーをプレイしていたと言っており、北海道の子どもたちが幼いころからスキーやスケートを経験する感覚に近いと感じました。

Rogers Place の他にも市内で無料開放されているスケートリンクはいくつもあり、好きな時間、好きな場所でスケートを体験できる機会が創造されています。スポーツ機会を得るには「近所にそのスポーツを体験する環境がある」、「友人や兄弟が先にそのスポーツをやっている誘われた」などのなにかきっかけが必要な場合が多いですが、近所に無料開放のスケート場があるこの環境は、上記のきっかけに当てはまりやすいと考えられ、カナダのホッケー人口が多いことや人気の理由が納得できました。

また、地元のプロチーム本拠地に試合日以外にも足を運びやすい機会が提供されていることで、私のような外から来た留学生もチームに関して興味を持ちやすく、実際、「いつかOilers の試合を観戦したい。」と話している留学生がほとんどです。私はルームメイトにスケートに行くことを誘われたことがきっかけで Rogers Place の存在を知りました。何度かスケートに行くようになり、Rogers Place がOilers の本拠地であることやEdmonton Oil Kings というOilers のジュニアチームがあることなど、スポーツの機会が提供されていることで、このようにOilers に関する知識と興味が深まりました。

北海道にいた際には、スケート及びホッケーを「する」、「みる」機会が身近にはありませんでした。しかし、留学先で私自身がスケート及びホッケーを「する」スポーツの機会を得たことから「みる」こと、さらには「支える」ことへの興味がさらに強くなったため、スポーツ機会を創造することは、興味関心を生み出すきっかけとなり、スポーツを通じて豊かな生活を実現することに繋がるのだと実感しました。

留学中の様々な経験から学習から感じることや新たな学びを大切に留学後の活動や将来に活か

していきたいと考えておりますので、引き続きご支援、応援の程よろしくお願い致します。

